

令和2年度に実施された事業

◆市内の児童・生徒に一人一台のタブレット端末を整備

国のGIGAスクール構想（注1）に伴い、市内の小中学校の児童・生徒及び教職員のタブレット端末を整備しました。

一人一台の端末を活用することで、一人ひとりの教育的ニーズや状況に応じた学習ができるようになりました。課題は、全児童・生徒の持ち帰りによる家庭学習です。通信環境の無い家庭への無線環境の支援やフィルタリングによるアクセス制限機能の導入等、様々な状況を想定して体制を整えていきます。

（注1）GIGAスクール構想とは？

全国の児童・生徒に一人一台のコンピュータと高速ネットワークを整備する文部科学省の取り組み。一人ひとりの学習進捗状況を可視化するなど、個別最適化され、創造性を育むICTを活用した教育環境の実現を目指す。

◆減災対策関連事業
・備蓄物資等の整備

アルファ米や保存水のほか、感染症対策としてペーパータオルやエタノール、避難所で使用するパーテーションや簡易ベット等を購入しました。

・洪水ハザード標識の設置

市では、洪水ハザードマップを作成し、全戸配布しています。さらに、日常生活を送るうえで水害に対する危機意識を高めることを目的として、河川が氾濫した際の浸水深の目安がまちなかでも認識できるように、市内の電柱120箇所に標識と赤いテープで浸水する想定の高さを表示しました。

◆新型コロナウイルス感染症対策関連事業
・特別定額給付金の給付

家計支援のため、基準日（令和2年4月27日）において住民登録のある方を対象に、一人につき10万円を給付しました。申請書は令和2年5月に一斉に送付し、7月と8月には申請勧奨通知を送ることで、のべ3万713世帯への給付を迅速かつ的確に行うことができました。

・事業者への支援金給付

売上高の減少した事業者を対象に、事業活動の継続および雇用の維持を目的として支援金を給付しました。給付額は1事業者あたり10万円で、事業に係る賃料は最大5万円を支援しました。

・公共施設における感染症対策の整備

市役所庁舎内をはじめ、学校や各公共施設に飛沫防止のパーテーションやデジタル温度計、消毒液等を設置しました。また、感染症拡大防止対策として公共施設や公園のトイレの洋式化等を行いました。

◆特別会計・事業会計

特別会計は特定の目的のための会計です。皆さんの健康保持に欠かせない国民健康保険、介護保険及び後期高齢者医療事業。また、快適に暮らせるまちづくりを進めるための農業集落排水事業、吉川美南駅東口周辺地区の整備を行うための吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業があります。

企業会計は、市が経営する企業の会計のことです。日々の生活には欠かすことのできない水道事業及び下水道事業があります。決算は左表のとおりです。

●特別会計決算

（単位：千円）

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	6,807,268	6,572,494
農業集落排水事業	31,947	29,920
介護保険	3,962,020	3,872,434
後期高齢者医療	737,544	724,972
吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業	1,501,185	1,499,127
下水道事業※	収益的	1,497,512
	資本的	657,573
水道事業※	収益的	1,612,890
	資本的	138,819

*資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てん。